

# 処分組合 ニュース

Vol. 19  
Oct. 2001



## 処分組合組織団体

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

八王子市	小金井市	清瀬市
立川市	小平市	東久留米市
武蔵野市	日野市	武蔵村山市
三鷹市	東村山市	多摩市
青梅市	国分寺市	稲城市
府中市	国立市	羽村市
昭島市	福生市	西東京市
調布市	狛江市	瑞穂町
町田市	東大和市	

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

### 【事務局】

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449  
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> 電子メール [sskumiai@okyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@okyo-shobunkumiai.com)  
処分組合は、多摩地域25市1町376万人の可燃ごみ焼却灰や不燃物を埋め立てている二ツ塚処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。

## 主な記事 「なるほど、知るほど、ごみ事情 ②」 二ツ塚・谷戸沢処分場の管理・運営をご紹介します

エコセメント通信 裁判レポート 環境調査データ報告 日の出だより 三多摩は一つなり交流事業 組合議長・副議長就任



## 世界最高峰チョモランマから ごみ問題を考える **チョモランマ発**

野口健さん(小金井市在住)

僕の活動が、ごみについて  
考えるきっかけになればうれしいですね。  
将来的には、地球全体がきれいになることを望んでいます。

### 僕の清掃登山は、こうして始まった

1997年4月、僕は初めてチョモランマに挑戦しました。結果は、山頂まで1,000メートル以上も残り撤退。悪天候と体調不良、それ以上に自分自身の経験不足が招いた敗北でした。悔しかったし、今まで築いてきた自信も吹っ飛びました。しかし、もっとショックだったのが、チョモランマに散乱するごみの山です。日本のテレビで何度も見たチョモランマの映像には、どこにもごみの姿はなかったのに。僕を見たごみの大半は、アジア諸国の登山家が捨てたもので、日本隊も例外ではなく、缶詰、ラーメンの袋、電池、薬などの生活用品からテントや酸素ボンベといった登山道具まで、ご

みの至るところから日本語が発見されました。標高の高い山々では、ごみが腐敗することなく凍結してしまう。そのため土に還らず、いつまでもその形が残ってしまうのです。

### 日本のマナーは、三流

日本隊が残したごみを指し、「日本は経済は一流だが、マナーは三流」と欧米人登山家たちから厳しく非難されました。欧米隊のごみはほとんどなく、反論の言葉がありませんでした。帰国後、山岳関係者にチョモランマのごみの報告をしましたが、前向きな反応はなく、そこから、僕の新たな挑戦が始まったのです。チョモランマを含めた山々、そして自然に対して恩返しをしたい。それがチョモランマ清掃登山を始めた理

由です。

### ごみの問題は、国民性の問題

昨年からはじめた清掃登山も2回目となり、合計で3トン強のごみを回収しました。清掃活動をしていく中でわかったことは、ごみの問題は、単にマナーの悪さだけではないこと。チョモランマにごみを捨てる登山隊の国へ行けば、その国も汚れている。登山活動後、ベースキャンプで横一列に並び、タバコ一本残さずごみを拾う欧米隊。彼らの国には、ごみ

など落ちていないのです。つまりは、国民性の違いなのだと思います。

### 僕の新たな挑戦。 子供たちに「環境教育」を

「日本は教育制度は充実しているのに、なぜ日本人がごみを捨てるのかわからない。我々には、小学校から環境という専門の授業がある」、欧米人登山家にご指摘され、ハッとしました。確かに、日本の教育から「環境教育」はすっぱり抜け落ちています。そして、僕は今青森大学大学院環境科学研究科環境教育学専攻に籍を置いています。環境をテーマにした野外学校を作り、子供たちに、自然の美しさや厳しさ、そして大切さを伝えていきたい。僕は、新たな挑戦として「環境教育」に取り組み始めました。

### 野口 健 — 登山家

Ken Noguchi

1973年アメリカ・ボストン生まれ。外交官の父を持ち、世界各地で少年時代を過ごす。16歳でモンブラン登頂に成功。99年2度の失敗を経て、エベレスト登頂に成功し、7大陸最高峰登頂の世界最年少記録を達成。2000年3月亜細亜大学卒業。その年の春よりエベレスト清掃登山に取り組み。



1回の清掃登山で回収されたごみ

## 多摩地域から日本の 「循環型社会」構築をめざし 挑戦しています。 **多摩からの返信**

処分組合管理者 **土屋正忠**  
(武蔵野市長)

野口さんとは10年来の友人ですが、彼の勇気ある挑戦に改めて拍手を送りたいと思います。21世紀は環境の世紀です。人類の持続的発展のためには、地球規模で環境問題に取り組まねばなりません。環境問題の原点は、私たちの日常生活にあります。豊かで便利な生活は一方で、いろいろな形で地球環境へ負荷を与えています。ごみは最後には、

処分場に埋め立てなくてはなりません。ひとりひとりが環境を意識して行動すれば、日本も変わるはず。野口さんの信念に基づく挑戦と同様、私たちの新たな挑戦も始まっています。多摩地域が先導役となり、日本の「循環型社会」構築をめざした挑戦です。



# なるほど、知るほど、ごみ事情 2

## 二ツ塚・谷戸沢処分場の管理・運営をご紹介します

多摩地域25市1町の可燃ごみの焼却灰や細かく砕いた不燃ごみは、日の出町にある最終処分場に埋立処分されています。昭和59年4月から平成10年4月までは、谷戸沢処分場に、平成10年1月からは二ツ塚処分場に埋め立てられています。都市化によって大量発生するごみを埋め立てるには、広大な土地が必要なので、最終処分場を日の出町に設置させていただいているのです。処分組合は、周辺環境に影響を与えないよう、日の出町や地元自治会に参加・協力いただいて最終処分場を管理・運営しています。

**処分組合ニュースのキャラクター「クリンクリン」**  
多摩の雄大な大地から生まれた妖精です。最終処分場を日の出町と多摩地域のみなさんといっしょに見守っていきます。どうぞよろしく。

### 最終処分場の設置にあたって、地元自治会と「公害防止協定」を結んでいます

谷戸沢・二ツ塚処分場の設置に先立って、処分組合と日の出町および地元自治会(第3および第22自治会)との間で、「公害防止協定」が締結されています。両協定は、公害を防止し地域住民の生命財産の安全を確保するために、自然環境と生活環境の保全に支障を生じさせないことを目的としています。

**協定の主な内容**  
埋立処分する廃棄物の種類および量の限定  
有害・危険物の混入を防ぐため分別収集の徹底要請  
設備・機能の点検および水質、発生ガス、大気等の検査の実施と結果の報告について  
廃棄物の搬入と埋立処分にあたっての遵守事項  
町・自治会による監視等(処分場内への立ち入り・資料の閲覧)について

### 地元自治会には、対策委員会が設けられています



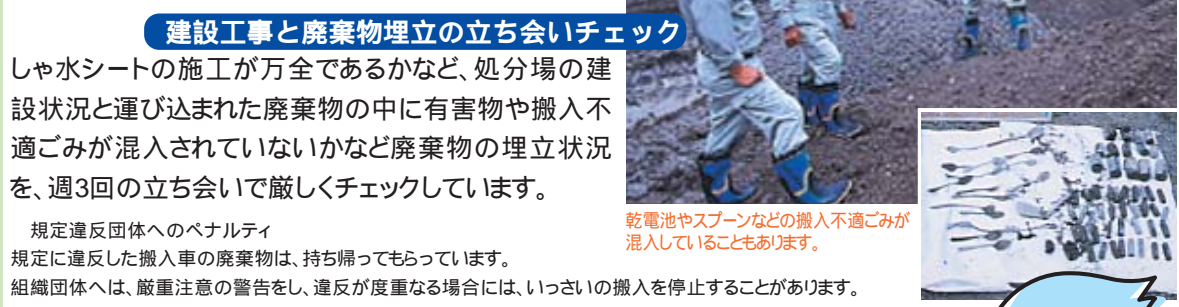
処分場の地元自治会には、第3自治会谷戸沢処分場対策委員会と第22自治会二ツ塚処分場対策委員会が設置されています。対策委員会へは、3か月に1回、環境調査データや安全対策などに関する情報を処分組合から報告しています。また、委員会からの要望を運営に反映させています。

各委員会は地元自治会、日の出町、処分組合の参加で行われます。

### 対策委員は、環境調査の立ち会いや建設工事、廃棄物埋立の立ち会いチェックをしています



**環境調査の立ち会い**  
処分場内とその周辺で定期的に行われている、ダイオキシン類調査などの各種環境調査に立ち会っています。大気中ダイオキシン類濃度を測定しています。埋立地内で搬入廃棄物を目視でチェックしています。



**建設工事と廃棄物埋立の立ち会いチェック**  
しゃ水シートの施工が万全であるかなど、処分場の建設状況と運び込まれた廃棄物の中に有害物や搬入不適ごみが混入されていないかなど廃棄物の埋立状況を、週3回の立ち会いで厳しくチェックしています。

**廃棄物の搬入と埋立管理のルール**  
中間処理施設での焼却残さの加温  
搬入車両の規制(時間・ルート)  
強風時の搬入停止(10分間の平均風速5.5m/秒以上)  
廃棄物の飛散防止のためのセル方式・即日覆土の実施

資源になるごみや有害・危険物が紛れているよ。きちんと分別して捨てようね

## 最終処分場の運営には、日の出町のみなさんに参加していただいています



技術委員会の提言に基づいて、各種調査を行っています。

## 廃棄物の専門家にアドバイスいただいています

処分場の建設・維持管理をはじめ業務全般に関する技術的課題の検討・助言を行うことを目的に、技術委員会を設置しています。福岡県リサイクル総合研究センターの花嶋正孝所長や廃棄物学会会長である岡山大学の田中勝教授といった日本を代表する廃棄物のエキスパート5名にお願いして、技術面でのアドバイスや提言、調査結果の評価などをしていただいています。

**技術委員会委員**  
花嶋 正孝 福岡県リサイクル総合研究センター所長  
田中 勝 岡山大学環境理工学部教授・廃棄物学会会長  
田中 信寿 北海道大学工学部教授  
細見 正明 東京農工大学工学部教授  
坂本 康 山梨大学工学部教授

技術的にも安全対策は万全だね

### 対策委員長に聞く 反対するだけでは何も始まらない。だから、運営に参加することにしました

**篠崎武一さん** — 第22自治会対策委員会委員長  
Takeichi Shinozaki  
現在、月・水・金と週3回、対策委員会と第22自治会でごみ搬入の立ち会いをしています。立ち会いを始めたのは、処分場の受け入れが決まり、建設が開始された時からです。工事がきちんと行われているか見せてもらいました。工事終了後も、焼却灰や破砕された不燃ごみの搬入時に、不適物の混入がないかを処分組合と一緒に監視しています。そもそも地元の中で、処分場の受け入れを完全に反対している人は、ほとんどいませんでした。ですからマスコミ報道で「反対する地元住民」とひと括りに扱われることに、みんな違和感を持っていましたね。搬入されるごみを見て思うことは、多摩地域のひとりひとりの方に、もっと、ごみに対して強い関心を持ってもらいたいことです。もしすべてきちんと分別されていれば、不適物も混入されず、私たちの立ち会いも必要なくなります。処分場をいかに安全に作って、運営していくかが、私たち地元住民と処分組合の共通の課題なんです。



### 谷戸沢処分場の維持管理にも、地元のみなさんが協力しています

谷戸沢処分場の埋立は終了しましたが、浸出水や発生ガスの監視、周辺環境への影響調査など、今後も徹底した維持管理が必要です。

環境保全調査委員会を設置し、環境保全のための各種調査を監理しています。処分組合では、地下水調査などの環境保全調査に関して万全を期すため、地元自治会代表や日の出町職員などで構成された環境保全調査委員会を設置しています。本委員会では、環境保全調査の立ち会いや調査内容の検討などを行っています。



処分組合より調査結果の報告を受けています。(環境影響評価委員会)

環境影響評価委員会へ環境モニタリング調査結果を報告しています。谷戸沢処分場の建設着工に先立ち、組合管理者の諮問機関として、日の出町、あきる野市、檜原村の議員や住民および学識経験者からなる環境影響評価委員会を設置し、審議を行いました。現在も事後調査報告として、環境モニタリング調査結果等を同委員会へ報告しています。

## エコセメント通信

エコセメントとは、エコロジーとセメントの合成語で、ごみの焼却灰を主原料にしたセメントのことをいいます。処分組合では、二ツ塚処分場に埋め立てられているごみの量の約6割にあたる焼却灰を安全に資源化し有効利用するエコセメント事業を推進していきます。

**環境影響評価調査計画書に対して、137件のご意見をいただきました**  
前号のエコセメント通信でお伝えした、エコセメント事業に関する「多摩地域廃棄物エコセメント化施設建設事業環境影響評価調査計画書」につきまして、大気

汚染や環境影響評価項目の選定に対することなど、137件のご意見をお寄せいただきました。これらのご意見に対し処分組合として見解書を作成し、東京都知事に提出する予定です。提出した見解書は、東京都知事により公表されます。

### エコセメント推進委員会が設置されました

7月18日に処分組合理事会が開催され、理事会の中にエコセメント事業に関する諸課題について検討・協議を行う「エコセメント推進委員会」が設置されました。理事会終了後に委員会が開かれ、委員長・副委員長を選任し、エコセメント事業の検討経過について事務局より説明が行われました。

- 【エコセメント推進委員会委員】  
委員長:石川 良一 (稲城市長) 青木 久 (立川市長)  
副委員長:星野 慧 (清瀬市長) 吉尾 勝征 (調布市長)  
土屋 正忠 (武蔵野市長) 寺田 和雄 (町田市長)  
竹内 俊夫 (青梅市長) 安田 豊次郎 (三鷹市長)  
前田 雅尚 (小平市長) 石塚 幸右衛門 (瑞穂町長)

## 裁判レポート

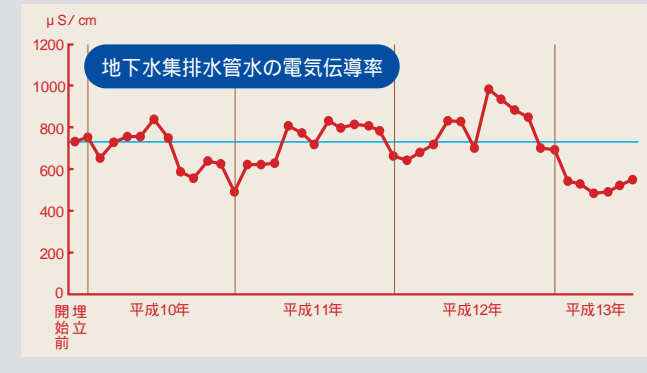
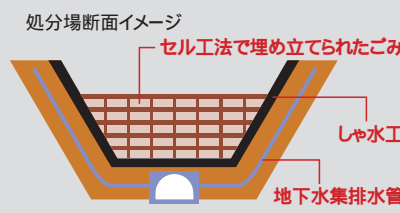
処分場の建設やデータ開示をめくり、これまで処分組合が当事者となった複数の訴訟が提起されてきましたが、そのほとんどは、処分組合の主張が認められ確定しています。ここでは、現在係争中の裁判について報告します。

**持分権確認請求訴訟** 平成13年7月11日に、東京高等裁判所より処分組合の逆転勝訴の判決が出されました。以下、持分権確認請求訴訟についてお伝えします。  
この裁判は、二ツ塚廃棄物広域処分場の収用手続きにおける補償金の払渡し手続が違法であるとして、元地権者が旧共有地の持分権の確認を求めて提起された裁判です。一審(東京地方裁判所八王子支部 判決日:平成13年1月26日)では処分組合の主張が認められず、平成13年2月2日に控訴していましたが、控訴審において、処分組合の主張が正当に評価され、勝訴となりました。持分権の確認を求めている裁判は、全部で20件提起されています(うち1件は、既に判決が出された18件の全てにおいて、処分組合は勝訴しています(うち1件は、上記の通り控訴審で逆転勝訴。また、5件が判決確定)。

## 環境調査データ報告

処分組合では、処分場による周辺への影響を調べるために、さまざまな環境調査を実施しています。今回は、二ツ塚処分場の地下水集排水管水(埋立地内の地下水)について報告します。

**地下水集排水管水の調査データ**  
地下水集排水管水は、しゃ水工の下の地下水等が集められた水です。この水質は、平成13年度も昨年度に引き続き、カドミウムなどの有害性重金属は検出されず、地下水環境基準を満たしています。また、処分場からの影響を見る指標である電気伝導率は、工事の状況や雨の量などにより、多少の変化はあるものの、埋立開始前と比較して大きな変化はありません。地下水集排水管水の調査データからも、埋立は周辺環境へ特段の影響を与えていないことがわかります。



# 日の出だより

No. 11



## 秋の日の出町で、「食」を堪能しませんか



10月27日(土)28日(日)  
日の出町産業まつりが開催されます

自然の恵みを一堂に集めたふるさとの祭典「産業まつり」が今年も開催されます。期日は秋も深まる10月27日(土)・28日(日)の両日。日の出町・町民グラウンドで、とれたての野菜の直売やキャラクターショーなど趣向を凝らしたイベントが盛り沢山。10月最後の週末に、ご家族そろって出かけください。

問い合わせ先 / 日の出町役場 経済課商工観光係

係電話:042-597-0511(内線241)

### いも掘り体験、してみませんか?

ご家族でいも掘り体験はいかがですか。日の出町のいも掘り農園では、10月1日(月)～11月4日(日)の間、いも掘りの予約をお受けしています。ご希望の方は、日の出町役場経済課商工観光係までご連絡ください。ご希望に添ったいも掘り農園をご紹介します。秋の多摩地区の散策とあわせて、ぜひいも掘りに日の出町まで足をのびしてみませんか。



## 7月30日、新しい組合議長・副議長が就任しました



石井 良司 — 組合議会議長  
Ryoji Ishii (三鷹市議会議員)



石川 庄太郎 — 組合議会副議長  
Shotaro Ishikawa (東大和市議会議員)

はじめに、日頃の処分組合に対する日の出町のみなさまの温かいご理解ご協力に敬意と感謝を申し上げます。ごみのさらなる減量化・資源化は、最終処分場の延命のためにも猶予できない緊急の課題であり、組合でも構成団体のご意見を受け、エコセメント事業の推進に取り組んでおります。現在は、このように大変重要な時期であり、議会もその使命を全うしなければならないと考えています。みなさまの温かいご支援ご協力をお願いいたします。議長就任の挨拶といたします。

2001年、国をはじめ東京都や各自治体も環境問題を重点目標として動き出しました。多くの市民もごみ問題に取り組んでおります。三多摩25市1町の最終処分場である二ツ塚処分場は、日夜安全管理を実施し、環境保全に取り組む、世界に誇れる処分場です。今後、三多摩地域のみなさまには、引き続きごみの減量にご理解をいただき、最終処分場の延命化にご協力をお願い申し上げます。地元日の出町の方々のご理解ご協力に深くお礼を申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

## ～ごみのゆくえを確かめよう～ 二ツ塚処分場 夏休み親子見学会を実施しました

夏休みの8月10日と20日、多摩地域在住の親子を対象に恒例の「二ツ塚処分場 夏休み親子見学会」を実施しました。10日は立川市清掃工場、20日は日野市クリーンセンターを午前中に見学。ごみの焼却処理などについて説明を受け、可燃ごみがクレーンで焼却炉に入れられる様子を見ました。午後は、二ツ塚処分場の管理センターで、ビデオや模型を見ながら、処分場の構造や安全性、運営などについて学んだ後、処分場内にバスで移動し、実際にごみが埋め立てられているところを見学しました。参加者は、適正な処理のためには、ごみの分別が必要なことや処分場延命化のためには、ごみ減量・リサイクルが大切であることを学びました。



## 処分組合の動き

- 7月10日(火) / 平成13年第2回正・副管理者会議
- 7月18日(水) / 平成13年第3回理事会
- 7月18日(水) / 平成13年第1回エコセメント推進委員会
- 7月30日(月) / 平成13年第1回処分組合議会全員協議会
- 7月30日(月) / 平成13年第1回処分組合議会臨時会
- 8月 1日(水) / 谷戸沢処分場環境影響評価委員会
- 8月 7日(火) / 処分場敷地内大気中のダイオキシン類調査実施
- 8月 8日(水) / 処分場敷地内大気中のダイオキシン類調査実施
- 8月13日(月) / 第3自治会谷戸沢処分場対策委員会
- 8月17日(金) / 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 8月17日(金) / 谷戸沢処分場の水質等調査結果公表(平成13年第1四半期分)
- 8月17日(金) / 二ツ塚処分場の水質等調査結果公表(平成13年第1四半期分)
- 8月17日(金) / 平成12年度底質中のダイオキシン類調査結果公表

問い合わせ先 TEL:042-385-5947・FAX:042-384-8449

### 処分組合のホームページをぜひご覧ください

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見をお手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、組合の概要やデータ類を掲載したホームページも、ぜひご覧ください。

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」  
[ホームページ] <http://www.tokyo-shobunkumiai.com>  
[電子メール] [sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com)

## \* 三多摩は一つなり交流事業 \*

最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々や多摩地域25市1町の住民とが文化・スポーツ等を通じ、相互の理解と信頼を深めていくことを目的とした事業です。処分組合では、本事業の実施を支援しています。

### 2009年夏 実施イベントの報告

#### アミューたちかわで歌舞伎公演を鑑賞(7月19日)

日の出町民50名が立川市を訪れ、清掃工場を視察した後、アミューたちかわで開催された松竹大歌舞伎を鑑賞しました。

#### 三鷹阿波踊りを見学(8月18日)

日の出町民41名が、市内にあるごみ焼却施設などを見学した後、三鷹駅前通りの会場で阿波踊りを楽しみました。中には、飛び入りで踊る町民の姿も見られました。



三鷹阿波踊り

#### そば打ち体験で、羽村市と日の出町が交流(8月25日)

羽村市と日の出町の家族計42名が、日の出町で一緒にそば打ちを体験し、自分たちで打ったそばを味わいました。



そば打ち体験

#### パルテノン多摩でオーケストラ演奏会(9月2日)

日の出町民48名が、多摩市のパルテノン多摩で新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会を鑑賞しました。

### 2009年秋 実施イベント

実施日	イベント名	事業主体
10月13日(土)	きよせ市民まつり	清瀬市
10月27日(土)	楽焼き体験と調布市花火大会(台風11号の影響により、延期されました。)	調布市